



庶民の会  
林田 勉  
議員

### ▼有明庁舎付近をやさしいまちづくり「ユニバーサルデザイン化」に整備を

Q 有明庁舎付近の段差の解消や点字ブロックの整備状況はどうか。また、国道交差点に音の出る信号機を設置できないか。

A 有明庁舎、有明文化会館、有明公民館の入り口にはスロープを設けている。点字ブロックは有明文化会館と有明公民館にはあるが、有明庁舎及び庁舎前道路の歩道には点字ブロックがない。歩道の段差解消には多額の工事費がかかるため、点字ブロックの設置と合わせて今後検討したい。国道交差点への音響式信号機は、警察へ要望し、設置の方向で検討されている。

Q 有明庁舎付近において、障がい者も利用できる屋外トイレの設置状況はどうか。

A 周辺施設の閉館後も利用できるよう、有明公民館敷地内にオストメイト（がんや事故により人口肛門を造設した方）対応も含めて、屋外トイレの設置を検討したい。

### ▼公共施設のエコ化、太陽光発電の設置拡大を

Q 市の施設における電力使用量、電気代は幾らか。また、市で設置している太陽光発電施設の年間売電額と、今後の増設予定はどうか。

A 昨年度の市が所管する公共施設電力使用量は千五百四十五キロワットアワーで約二億円である。太陽光発電施設は復興アリーナに九十キロワット、一と三小には十五キロワットを設置しており、売電額の合計は三十五万七千七百三十五円である。ほかの公共施設等についても設置できないか現在検討中である。

### ▼新庁舎建設計画のその後の進展は

Q ①基本構想はまとまったのか、②プロポーザル募集時期はいつごろか、③今後の工程はどうなっているのか。

A ①市長を囲む懇談会や議会などで出された意見について、現在内部で検討している。②今後、設計者選考委員会を設置し、公告内容や審査基準を検討する必要があるため、しばらく時間がかかる。③多くの検討材料があり、明確な時期を言うことはできないが、建設期間としては二年間程度を想定している。



公明党  
永尾 邦忠  
議員

### ▼半島振興法について

Q 離島振興法と半島振興法にはどのような差があるのか。

A 支援措置を比較すると、公共事業において補助率がかさ上げされる事業数、医療の確保や教育の充実等の離島に限定した支援策があるなど、半島振興法に比べ、離島振興法は手厚い支援内容である。また、本年六月に施行された離島振興法の改正では、支援制度の更なる拡充がなされている。

Q 半島全体の振興を考えると、島原半島の縦断高速道路が大事になってくると思うがどうか。

A 計画路線の諫早―島原間、候補路線の深江―口之津間、これを三県架橋により九州西岸軸構想として再度強く要望するため、候補路線の計画路線格上げを毎年要望している。

### ▼浄化槽設置にかかる補助金について

Q 南島原市と雲仙市では、全ての建物が

補助対象となっているが、島原市も検討できないか。

A 現在、本市の補助金交付対象は一般住宅、共同住宅、併用住宅の住宅部分のみである。設備投資額と雇用数により浄化槽設置も補助対象となるが、それに該当しない部分もあるので、今後検討したい。

### ▼地下水・湧水の水質の現状について

Q 化学工場や畜産業で地下水の汚染が発生した場合、責任はどこにあるのか。

A 基準に適合しない排水がなされている場合等の改善命令や施設の一時使用停止命令などは県が行うことになっている。

### ▼補正予算の塵芥収集・処理事業の充実について

Q 新聞、雑誌、段ボール等を拠点回収することになるが、可燃物ほどの程度減量化できると考えているのか。

A ごみの量として約千二百五十トン、ごみ処理経費として年間約三百万円の経費を削減できると考えている。

### その他の質問項目

◇市営住宅の明け渡し時における原状回復について